平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

基本事務事業名]　患者本位の医療の推進事業　（１０１）
評価年月日]　平成１２年１１月１日
主担当部課名]　健康福祉部医療政策課
記入課名・課長名・電話]　健康福祉部医療政策課　池山 喜三男　059-224-3111

1　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策　：安心できる生活の確保　（Ⅱ－３）
施策　：医療提供体制の整備　（　１　）
総合計画の目標項目　：　患者本位の医療提供体制の整備
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策　：　人権施策の総合推進

2　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）
少子高齢化の進行、医療技術の高度化、県民意識の多様化等により県民の医療ニーズも高度化、多様化している。
また、人権意識の向上により、医師と患者の意識が変化してきている。

3　基本事務事業の目的と成果
3-(1) 対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）
患者、家族が治療内容や方法について必要な情報を得て、主体的な選択ができるようにする。

3-(2) 成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）

$$\text{患者の満足度} = \frac{\text{満足者数}}{\text{患者数}}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）
具体的な数値を算出することは、困難である

3-(4) 結果（施策における2010年度の目標）
患者が真に必要とする医療や情報が提供される。

4　基本事務事業の評価
4-(1) 前年度（11年度）における基本事務事業の結果評価
①前年度に行った内容と成果
院内感染の予防対策研修による医療機関の信頼回復

②前年度に残った課題
医療機関信頼の定着

4-(2)本年度(11年度)における基本事務事業の見込み評価
①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

医療従事者及び県民の緩和ケアに関する意識啓発のための事業

②本年度残ると思われる課題

5 基本事務事業の改革方向

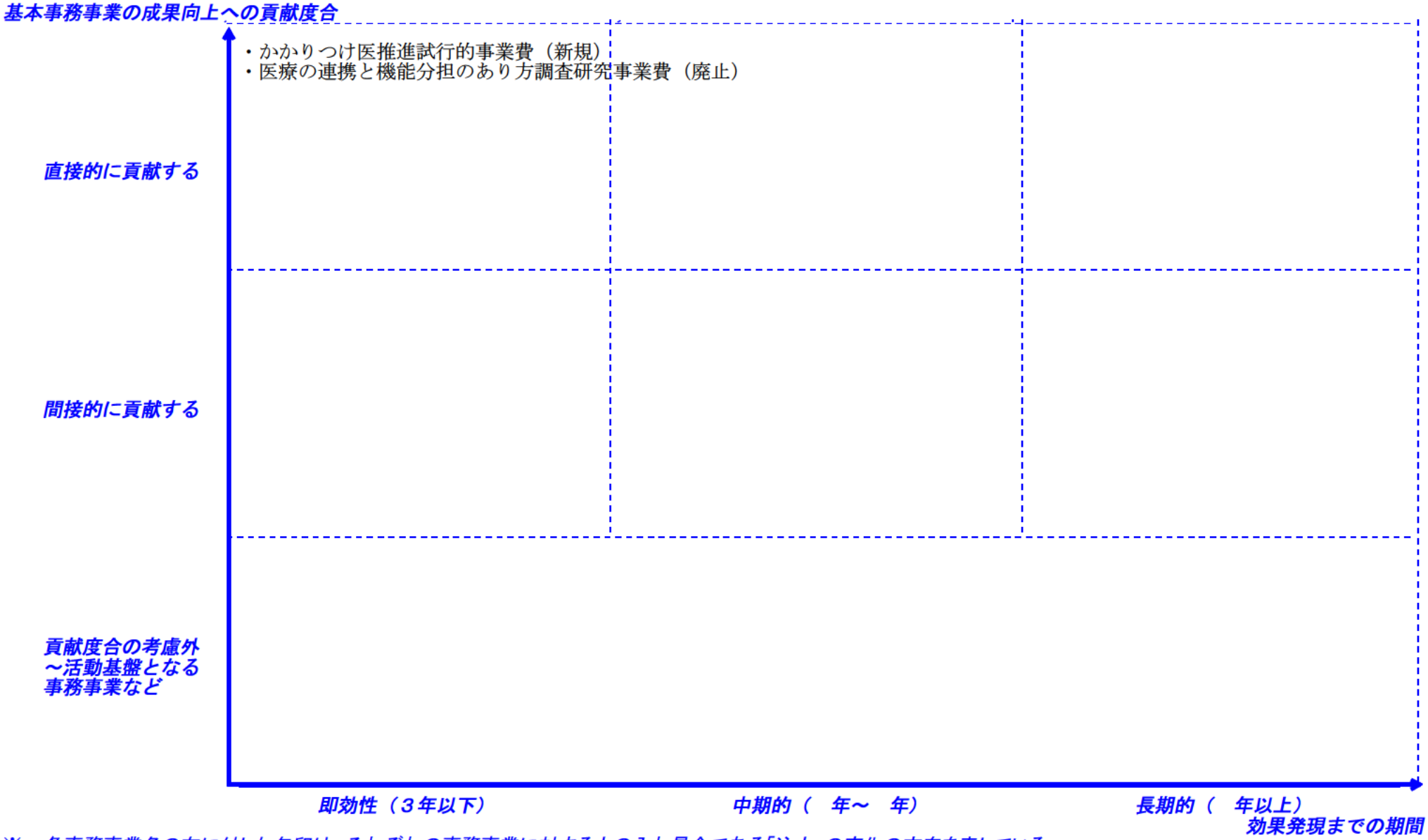
緩和ケア推進事業は、廃止し、医療連携、医療情報提供等について調査検討する患者本位の医療推進事業を実施する。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値 目標	成果指標値 実績	総合計画 目標数値	予算額等 (千円) 所要時間 (時間)	必要概算 コスト (千円)
前々年度 (H10年度)		100.0%	—	321 / 255	1,387
前年度 (H11年度)		50.0%	—	630 / 255	1,688
本年度 (H12年度)	100.0%		—	1,200 / 200	2,030
本年度補正後 (H12年度)			—	+(or ▲) / +(or ▲)	+(or ▲)
翌年度 (H13年度)		———	—	6,621 / 400	8,297
計画目標年次 (H 年度)		———	—	———	———

7　翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト：　☆５億円以上　◎～１億円　◇～５千万　△～１千万　・１千万未満　＊休止・廃止〉



※　各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8　基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※　新規事務事業には、事務事業名に（新）を付す

事務事業名（担当課）	*意図の指標名*	*事務事業の概要*	*13年度予算額（千円）*	*予算額前年度比（±千円）*	*13年度所要時間（時間）*	*所要時間前年度比（±時間）*
かかりつけ医推進試行的事業費（新）（医療政策課）	患者の認識度	患者本位の医療提供体制の確立を図るために、かかりつけ医の啓蒙、医療連携及び医療機関の紹介について委託事業により調査及び体制の整備を行う。	6,621	6,621	400	400